

九条弘道

京都市立九条弘道小学校
 学 校 だ よ り
 平成25年11月14日
 校長 土 居 吉 人
 前 期 評 価 号

Tel:671-6981 Fax:691-3458 HP:http://www.edu.city.kyoto.jp/hp/kujokodo-s/

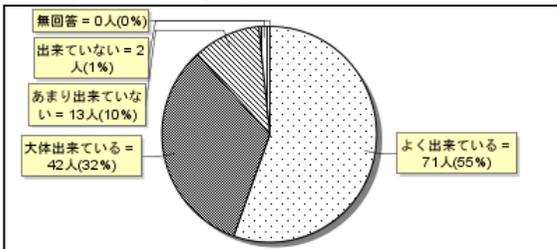
「前期学校評価アンケート」の集計結果をお知らせします。

紅葉のたよりも届き、秋本番を迎える頃となりました。皆様におかれましては、ますますご健勝のことと、お喜び申し上げます。平素は、学校教育に、保護者・地域の皆様方のご支援・ご協力を賜り、本当にありがとうございます。

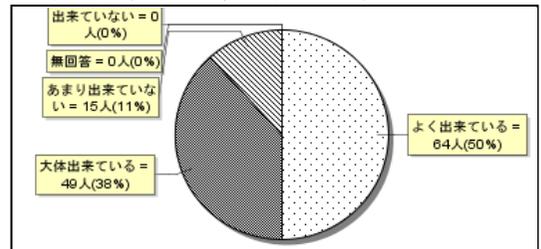
10月に実施いたしました「前期学校評価アンケート」に多数ご協力いただき、ありがとうございました。遅くなりましたが、前期評価アンケートの集計結果をお知らせします。

子どもアンケート(前期)集計結果について

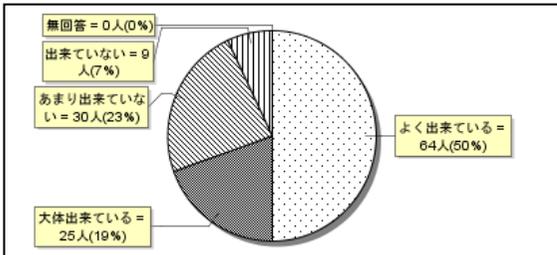
＜学校生活が、楽しい＞



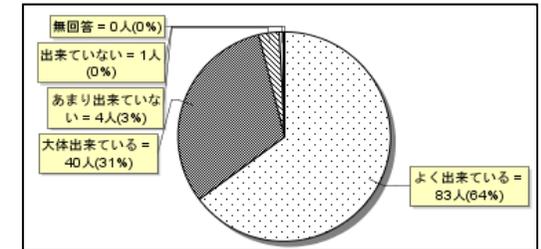
＜授業は、わかりやすく楽しい＞



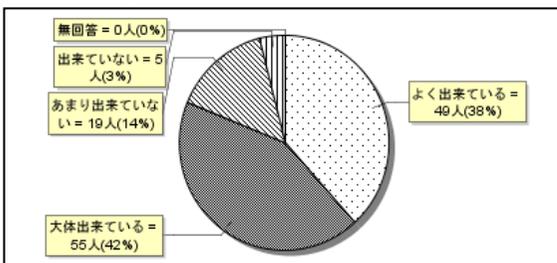
＜本を読むことが好きで進んで本を読んでいる＞



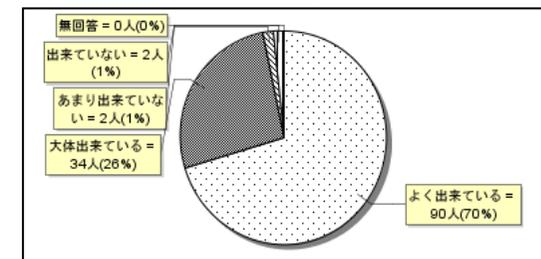
＜学校の友だちと仲よくできている＞



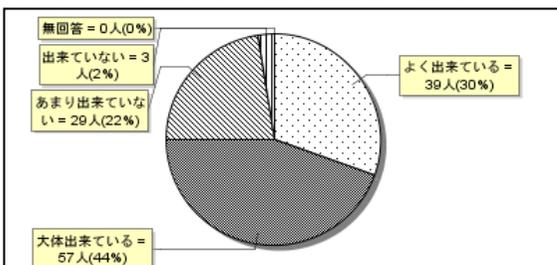
＜学校のきまり「九条弘道っ子のやくそく」を守っている＞



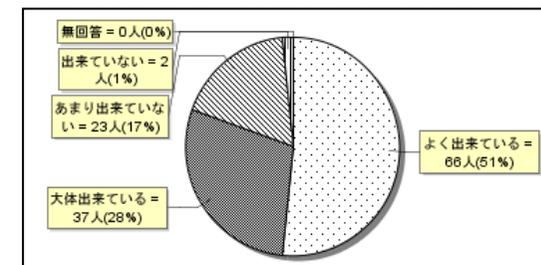
＜そうじ当番や給食当番の仕事をきちんとしている＞



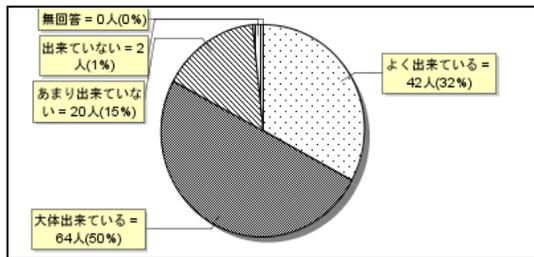
＜クラスの人や他学年の人、学校などの役にたっている＞



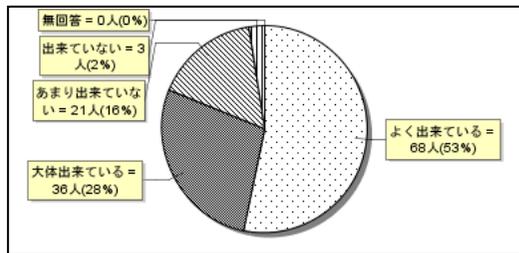
＜「ありがとう」と言われたりほめられたりしている＞



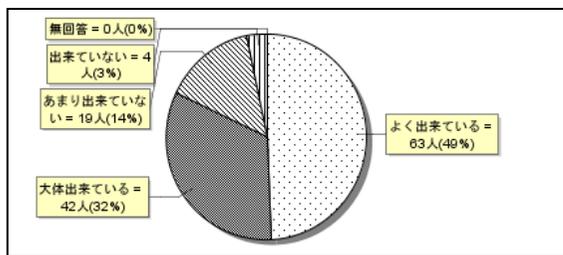
＜人から注意された時，すなおにきく＞



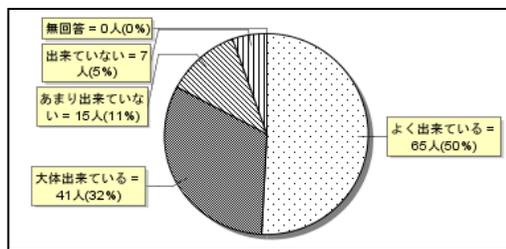
＜自分からいつも進んであいさつをしている＞



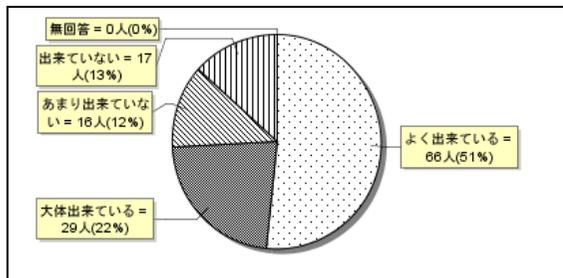
＜自分には「よいところ」がある＞



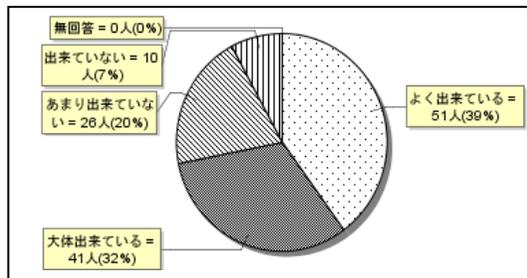
＜早寝・早起き・朝ごはんなど健康に気をつけた生活ができている＞



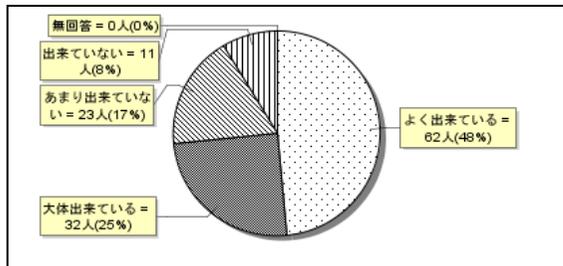
＜家で15分×学年以上の学習がいつもできている＞



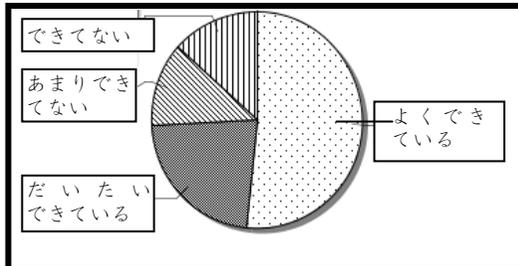
＜家でお手伝いをよくしている＞



＜家の人におたよりをわたしたり学校の話をよくしたりしている＞



＜円グラフのみかた＞



子ども達は、「学校が楽しい」「授業がわかりやすく楽しい」「友達と仲良くできている」「当番の仕事などをしっかりしている」「進んであいさつをする」「自分にはよいところがある」などの項目で、8割以上の高い評価をしています。学校運営協議会の理事会でも、「子ども達は進んで挨拶をし、表情や声も明るく、本当に楽しそうに学校に登校している様子をよく見かけ、この結果は正しいと実感できる」との感想をいただきました。本校の『子ども一人ひとりが主人公』となる学校をめざしての人権に関する取組や学力向上の取組などにより、子どもたちが学校や自分たちを高く評価してきていると感じます。今後も、ご家庭や地域の方々との連携しながら、子どもの学力や能力などをさらに高めていきたいと思ひます。ご協力、ご支援をよろしくお願ひいたします。

「学校評価支援システム」を活用しての分析結果の見方について

本校では「学校評価支援システム」を活用しての「学校アンケート」を実施しております。保護者や地域の皆様には、マークシート方式での学校アンケートに多数ご協力いただき、本当にありがとうございました。

項目評価に、「重要度」「実現度」を同時にたずねる形式を取り入れ、重要だけれども実現度が低い項目が課題として浮かび上がるようにしている「ニーズ調査型アンケート」にしています。アンケートでの「重要度」とは、その項目が「どのくらい重要だと思うか」ということです。また、「実現度」とは、その項目が「どのくらい実現できていると思うか」ということで、子ども達の姿を通して評価していただきました。この2項目を同時に調査し、「学校評価支援システム」を活用して分析しますと、「ニーズ度」という保護者の方が求めておられる願いが浮かび上がるようになっております。

以下に、この集計からの分析結果の見方についてご説明いたします。

「重要度」と「実現度」の最高値は『7』です。

7に近いほど、重要であり、実現もできていると判断します。

特に高い値と低い値には、色がつけてあります。

「ニーズ度」は、「重要度×(8-実現度)」で計算されて、最高値は『49』です。重要度が高く、実現度が低いほど値が高くなります。「25」以上が「重点課題」に位置づけられて色がつけてあります。

| 質問文 | ▲重要度▼ | ▲実現度▼ | ▲ニーズ度▼ |
|----------------------------|-------|-------|--------|
| 子どもは、安心して楽しく学校に通っている。 | 6.9 | 5.5 | 17.4 |
| 子どもは、しっかりと授業を受けている。 | 6.8 | 4.8 | 22.1 |
| 楽しく、分かりやすく、工夫した授業が行われている。 | 6.6 | 5.1 | 18.9 |
| 子どもに読書習慣がついており、進んで本を読んでいる。 | 6.1 | 3.4 | 28.4 |
| 子どもは、進んであいさつができています。 | 6.8 | 4.1 | 26.4 |

「ニーズ度」は、値が高いほど『学校の課題』として位置づけなければならないものと見ることができます。

回答に表れた願い（ニーズ）を今後の学校の取組に反映させていきます。

子どもを共に育む京都市民憲章

わたたくしたちは、

- 1 子どもの存在を尊重し、かけがえのない命を守ります。
- 1 子どもから信頼され、模範となる行動に努めます。
- 1 子どもを育む喜びを感じ、親も育ち学べる取組を進めます。
- 1 子どもが安らぎ育つ、家庭の生活習慣と家族の絆を大切にします。
- 1 子どもを見守り、人と人が支え合う地域のつながりを広げます。
- 1 子どもを育む自然の恵みを大切にし、社会の環境づくりを優先します。



平成19年2月 5日(育児ニコニコ笑顔の日)制定
3月13日 京都市会が憲章推進を決議

保護者アンケート(前期)分析結果について

今回の「前期 学校アンケート」にも約98%の保護者の方にご協力いただきました。本当にありがとうございました。以下に分析結果を載せさせていただきます。

| 番号 | 質問文 | 重要度 | 実現度 | ニーズ度 |
|----|----------------------------------|------|------|-------|
| 1 | 楽しく学校生活が送れるように、家庭では生活習慣を整えている。 | 6.64 | 4.79 | 21.34 |
| 2 | 楽しく、わかりやすく、工夫した授業が行われている。 | 6.67 | 5.31 | 17.96 |
| 3 | 家庭では、よく読み聞かせをしたり、本にふれあわせたりしている。 | 5.99 | 3.18 | 28.89 |
| 4 | 学校の様子を知るために、参観や懇談会などによく参加している。 | 5.96 | 4.17 | 22.82 |
| 5 | 学校のまきまり「九条弘道っ子のやくそく」をいつも守らせている。 | 6.12 | 4.82 | 19.44 |
| 6 | 学校での取組や様子が、おたよりなどでよくわかる。 | 6.30 | 5.25 | 17.35 |
| 7 | PTA行事や地域行事などによく参加している。 | 5.49 | 3.96 | 22.17 |
| 8 | 家庭では、よい行いや努力をした時には必ずほめている。 | 6.69 | 5.38 | 17.55 |
| 9 | 誰の言うことでもきくように日頃から諭している。 | 5.55 | 4.40 | 19.97 |
| 10 | 「おはよう」や「おかえり」などのあいさつを大人からしている。 | 6.59 | 5.78 | 14.63 |
| 11 | 子どもの願いや将来の夢などを知っている。 | 6.25 | 5.02 | 18.65 |
| 12 | いつも早寝・早起き・朝ごはんを守らせている。 | 6.51 | 4.90 | 20.17 |
| 13 | 子どもが家庭で学習にもかえるように、環境を整えるなどをしている。 | 6.19 | 4.38 | 22.42 |
| 14 | 家庭では、子どもに家族の一員として役割をもたせている。 | 6.17 | 4.43 | 22.05 |
| 15 | 子どもと学校の話をよくするなど、多く関わっている。 | 6.58 | 5.00 | 19.73 |

学校では、子ども達がすすんで本に親しむような読書習慣の育成を図っております。昨年度から図書支援員や学校教育支援ボランティアの方々のご支援を得ながら図書室をリニューアルし、子ども達が利用しやすい図書室づくりをめざして読書環境を整えています。しかし、子どもたちの評価は、「よくできている」「だいたいできている」を合わせて69%で、ご家庭では読み聞かせや本にふれ合わせている実現度が3.17と最も低く、ニーズ度が最も高い分析結果となっております。今回の学校評価の中で、この項目が課題であると言えます。学校でも、子ども達が進んで図書室に行こうと思う取組や、進んで本に親しめるような取組を考えていきます。ご家庭でも、お子たちへの読み聞かせをしていただいたり、図書館などの取組と一緒にいかれたりするなど、本にふれ合い、お子たちの読書習慣作りに向けて、今後とはたらきかけをお願いします。